

令和三年度

小論文

(60分)

短期大学部 幼児保育学科

解答はすべて解答用紙に記入すること

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
- 二、問題用紙は、表紙を含めて三ページである。
- 三、解答用紙は、一枚である。
- 四、受験番号・氏名は、監督者の指示に従って記入すること。
- 五、問題用紙の余白等は適宜使用してよい。

問題

短期大学部 幼児保育学科

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

ゆりちかへ

My lovely ゆりちか。

赤ちゃんがこんなに可愛いとは、

ママは知りませんでしたよ！

病気になったときは死にたいと思ったけど、

今はできるだけ長く生きてあなたと一緒にいたいです。

ゆりちかが笑うと本当に可愛くて、

こっちも幸せになります。

その笑顔をこれからもずっと見ていたのですが、

何があるか分からないので、

ママがゆりちかに話したいことを書きます。

けんか

ゆりあは女の子だから、なぐり合うようなけんかはあまりしなないと思うけど、口げんかはやっぱりよくするかも。パパとママと友達と……いろいろ。

口げんかは勝負だから、言われたらすぐ言い返さないと負けます。口ごもったりひるんだり、言い遅れたりしたら負け。とっさの判断で言い返すのはとても頭を使います。口げんかは頭がいい人が勝つのかも。ママはあまり得意ではありません。考えてしまっつて、すぐに言い返すのがへたです。

パパはその点上手ですね(パパはとっさに言い訳を考えつくのも上手い)。

でもけんかが終わると、へたでよかったのかも逆に思うときがあります。悪口やひどいことは言われると傷つきます。いやな気分になります。だから言わなくて済んだのはよかったのかも思うからです。けんかしているときはうまく言い返せない自分に腹立たしいけれど、やはり人を傷つけるようなことは言わないほうがいいです。^⑦言葉は怖いもので、言った人はすっかり忘れておぼえてさえいないことでも、言われて傷ついた人はずっと忘れられずに残ることがあるから。

人は一人では生きていけません。たくさん他の人たちと関わりあって生きています。世の中にはいろいろな人がいて、合う人合わない人があるのは当然で、そういう人たちと一緒に生きてゆくのです。ときどきけんかがおこるのも当然です。

けんかするのは別に悪いことじゃないですよ。でも大事なものはその後に仲直りすることです。仲直りのコツは「一日寝かす」こと。けんかしているときは、怒りでプンプンで感情的になっているので、双方とも冷静になれません。だから一日寝かせてちよつと時間を置いて気持ちを^①オサめると冷静に考えることができるようになります。

仲直りするときは、自分が何がイヤだったとか、とても傷ついていやな気持ちになったというようなことは、はっきり言いましょ。ガマン^②しなくていいです。でも言うときに大事なものは絶対怒って感情的にならないこと！

まじめに正直に、素直に、冷静に言うのが大事です。

相手を責めるのではなく、いやだったという事実を伝えることが大切です。逆に自分が言われたときも、感情的にならずに素直に聞くようにしましょう。感情的になるなって言われても難しいけどね。がんばって。

仲直りがいつもうまくいくとは限りません。仲直りできないときもたくさんあります。どうしても許せないときもあるでしょう。そんなときは、せめて許すことはできなくても、ちよつとだけ忘れてあげることはできると思いますよ。また、どうしても解決できないこともあると思います。そういうときは、考えないようにするもの一つの方法です。

まともにぶつかるのではなくて、よけて通るのも時には有効ですから。

ママは20代初めごろまでは、そういうのは逃げているようで、ズルいような気がしてあまり好きではなかったのですが、社会に出て仕事して、いろんな人に会ったら、「地雷」は^③サけて通ったほうがいいなと思うようになりました。よく「話せば分かる」と人は言いますが、あれはウソで、「話したって分からない」のが人間だと思います。だから言葉や態度で分かりあえるように努力するのが大事なのです。思っているだけでOKなんて甘えではダメです。Action（行動）こそが大事です。思いをどういうAction（行動）に表すかで、その人の人生が見えると言ってもいいぐらい大事だと思うよ。だから難しいんだけどね。

どんなに話してみても理解できない人が世の中にはいます。ママは、パパにできえも、どんなに話しても分からないことがあるよ。愛しあっているもの^④ドウシでも分かりあえないことがあります。でも、いつもそのことばかり考えているわけではないから、フダン^⑤は仲良しでいられます。好きな人のいやなところは見ないようにしてあげる。嫌いな人のいやなところは考えないようにしてあげる。これで毎日がストレスなく少しでもhappyに過ごせるようになるなら、それはそれで全然いいと思うよ。

毎日会うとけんかするけど、ときどき会うと仲良しでいられることはよくあります。ママが大学生の頃、ママのお母さん、お父さんと毎日けんかしていたので、ママは家にいるのがいやになって、バイトでお金をためて一人暮らしを始めました。そしてらママはお母さん、お父さんのありがたみが分かったし、素直に感謝できるようになったし、ママのお母さん、お父さんも、ママを思いやつてくれるようになったし、お互い仲良しになれました。

いやなところを見ないようにしても、しばらく距離をおいてもダメなとき、どうしてもガマンできないとき、そんなときは、もうその人（物、場所）と一緒にいるのはやめたほうがいいです。その人（物、場所）ということで自分が毎日傷つくようなら、早く距離をおくようにしましょう。最近の若い人には自殺するところまでガマンしてしまう人がいるそうです。ばかみたいだね。たいていのことが死ぬほどのことじゃないのに、逃げちゃえばいいのにね！ 本当にキツいときは「逃げる」ことすら頭に浮かばないことがあるから、とにかく本当にキツくなったら逃げちゃいなさい！ ゆりあ。

自分の命をさいごに守るのは、誰でもないあなただけです。愛している人でも、お医者さんでもありません。さいごのさいごはね。

人間は一人で生まれてきて、一人で死んで行くんだからさびしいけど、さいごのさいごは一人なの。だから生きている間は、いっぱい好きな人と一緒にいて楽しい思いをするのよ！！

出典 テレニン晃子『ゆりちかへ〜ママからの伝言〜』 書肆侃侃房 一部改変

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを適切な漢字に直しなさい。

設問二 傍線部ア「言葉は怖い」とあるが、それはなぜか。著者が述べている理由を、本文中から二五字以上三〇字以内で抜き出しなさい。

設問三 本文の内容を踏まえて、あなたが考えたことを四〇〇字以内でまとめなさい。